

平成 27 年度（2015 年度）事業報告

本財団で行った研究および研修事業

本財団は、医師等に対する精神分析および精神分析療法に関する研修事業として通年セミナー7件うちワークショップ1件、単発セミナー7件、海外講師によるセミナー4件、出版・広報事業1件を実施した。

I. 研修事業

1. 通年セミナー

(1) 小寺精神分析研究セミナー（第 21 期）

テーマ：「私のフロイト」

目的：本財団の初代理事長であった小此木啓吾先生は、日本精神分析学会の会長講演で「わがフロイト像」いう講演をされました。

精神分析の創始者フロイトは私たち精神分析と関わる者にとって、きわめて重要な存在です。彼と絶えず対話し、交流し、同一化するというプロセスを私たちは続けているでしょう。

小此木先生の会長講演から四半世紀、このセミナーでもそろそろそうした過程をどのように次の世代の分析家たちがなしているのか、じっくりと語ることができる時期が来た気がします。それぞれの分析家が、フロイトという人間とどのように語り合ってきたのか。そしてその交流のなかから何を見出し、生み出したのか。精神分析家になり、精神分析家として仕事をする過程にその交流はどのように意味をもっているのか。そうしたことを語っていただくことを目的とする。

対象：精神分析の指導者および臨床家の養成のため、精神分析セミナー、対象関係論勉強会、精神分析的な心理臨床セミナーの受講生、卒業生及びこの基準に準じた臨床家の方。

開催期間：平成 27 年(2015 年)5 月～平成 28 年(2016 年)3 月、月 1 回

第 3 土曜日原則、午後 6 時 30 分～9 時、全 10 回

開催場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

参加人数：85 名

運営方法：毎回講師 1 名、指定討論者 1～2 名をお願いし司会は藤山直樹が担当。

担当：藤山直樹

日時	講師	テーマ	討論者
5月16日	松木邦裕	フロイトと転移	高野 晶
6月20日	小川豊昭	運命の反復とフロイト	福本 修
7月18日	藤山直樹	フロイトはどれくらい「精神分析家」だったのか	白波瀬丈一郎 皆川英明
9月19日	岡田暁宜	「フロイト」の中の私、私の中の「フロイト」	池田政俊
10月31日	北山 修	「あれかこれか」と「あれとこれと」	中村留貴子
11月21日	鈴木智美	フロイトの書き方に出会う	生地 新
12月19日	福本 修	精神療法家のフロイト、精神分析者のフロイト	妙木浩之
1月16日	衣笠隆幸	フロイトの基本的姿勢	小林要二
2月20日	岡野憲一郎	私のフロイト	村岡倫子
3月28日	古賀靖彦	フロイトの晩年	奥寺 崇

(2) 体験グループセミナー (第21期)

目的：精神分析、力動的力動的精神療法力動的の方向付けを基本とした、グループダイナミックスの学習、自己理解の深化をワークショップ形式のグループ体験を通して得る機会の提供を目的とする。

対象：精神分析セミナー、精神分析的精神分析的心理臨床セミナーならびにそれに相当するセミナーの受講者、修了者ですすでに精神療法精神療法の経験をもつ方を優先する。

基本を2年コースと考えているので原則として2年目の参加者を優先。

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：平成27年(2015年)5月～平成28年(2016年)3月、月1回

第4金曜日原則、午後7時～8時30分、全10回

場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：23名

担当：相田信男

(3) グループ理論研究セミナー (第20期)

目的：精神分析、力動的力動的医学を基礎におく基礎におく集団精神療法集団精神療法の臨床または指導者の養成を、理論的理論的学習、とりわけ事例をめぐるスーパービジョンスーパービジョンを通して達成することを目的とする。

対象：何らかの臨床グループあるいはトレーニング・グループなど、実際グループに参加した経験のある方で、ことに事例提供が可能な方を原則とする。

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：平成27年(2015年)5月～平成28年(2016年)3月、月1回

第2土曜日、午後2時～5時 全10回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：42名

担当：相田信男

(4) 力動的家族療法セミナー (第13期)

目的：力動的力動的な家族療法を中心としたを中心とした家族面接と評価の方法、ジェノグラム書き方、介入技法など。

対象：個人精神療法に関する何らかの研修（セミナーあるいはスーパービジョンなど）を受けているか、受けたことのある方。大学院生も受講可。

講師：中村伸一・野末武義・岩井昌也

開催期間：平成27年(2015年)6月～平成28年(2016年)3月、月1回

2015年度は原則第3土曜日、午後2時～5時 全10回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：15名

担当：中村伸一

(5) 小寺臨床講読セミナー

—現代クライン派の系統的理解（第Ⅲ期）：3. クライン派の諸主題—

目的：メラニー・クラインは、現代の精神分析の重要な源泉の一つであり、優れた直観と観察に基づいて多くの独創的な見解を展開しました。本年度は、その後継者たちによる臨床的な主題の展開を取り上げます。邦訳のある文献も多く含めて、初学者の方が参加しやすいようにしました。経験のある方が、再度勉強する機会にもなります。本年からの参加も可能です。

対象：テキストを読んで毎回参加できる方。年に何回かレジュメ作成・発表を担当。

講師：福本 修

開催期間：平成 27 年（2015 年）4 月以降の第 2 金曜、午後 7 時～10、全 12 回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：21 名

担当：福本 修

(6) 小寺臨床講読ワークショップ

—フロイトの系統的理解（第Ⅳ期）：1 精神分析の発見（1895-1910）—

目的：2006 年の開講以来、第Ⅳ期を迎えました。フロイトの著作は今も基本であり、発想の源泉です。しかし系統的に読み進めるのは、容易ではありません。特に黎明期の精神分析は、19 世紀の科学用語を引き継ぎ、臨床設定を定めていく途上にあるので、個人的に読んで往時を追体験することは案外困難です。本ワークショップでは、参加時間の中でフロイト読解を体験し、精神分析の〈現場〉へと赴くことを目指します。2015 年度は、第Ⅳ期の初年度となります。症例研究が中心ですので、初学者の方にも経験ある方にも、新鮮なフロイトに触れることができるでしょう。3 年間で全体をカバーする予定です。

対象：テキストを読んで毎回参加できる方。臨床経験の多寡は問いません。

講師：福本 修（余裕があれば時にゲスト講師）

開催期間：平成 27 年（2015 年）4 月以降の第三金曜、午後 7 時～10 時、全 12 回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加人数：26 名

担当：福本 修

(7) 精神分析的な心理療法セミナー（第 6 回）

目的：精神分析的な心理療法についての事例検討と研究を目的とする。原則として、ある程度の臨床経験と、個人スーパービジョンを中心とする研修経験をすでに持っており、事例報告ができる臨床心理士を対象とする。精神分析学会認定資格の取得を目指すことが望ましい。また、年に数回、外部からの講師もお迎えして助言をお願いする。事例をめぐる活発な討論を行うので、積極的に意見を述べる、経験豊かな臨床心理士の参加を歓迎する。

対象：精神分析の基礎講義を修了し、個人スーパービジョンの経験を持つ臨床心理士

講師：中村留貴子・平井正三・深津千賀子・藤山直樹・妙木浩之・湊真希子

開催期間：平成 27 年（2015 年）4 月～平成 28 年（2016 年）3 月
原則として、第一金曜日、午後 7 時 30 分～10 時、全 10 回
日曜日などに特別セッションを設けることもある。
開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム及び小会議室
参加人数：9 名
担 当：中村留貴子

2. 単発セミナー

(1) 精神分析—医学生・研修医セミナー（第 8 回）

目 的：医学生を中心に、精神分析の世界を概観する機会を提供し、その魅力を伝え、さらに精神的臨床家との交流を通して、精神分析の世界への関心を高めること。
開催日時：平成 27 年（2015 年）7 月 19 日（日）・20 日（月・祝）
開催場所：小寺記念精神分析研究財団 セミナールーム
講 師：菊地孝則・北山修・白波瀬丈一郎・高野 晶・藤山直樹
対 象：医学生、および研修医
参加人数：11 名
内 容：レクチャーおよび分析家オフィス見学ツアー
担 当：菊地孝則・高野 晶

(2) 関係性精神療法セミナー（第 5 回）

「外的現実と心的現実」—その臨床をめぐって—

目 的：関係性精神療法について、毎年テーマを変えて講義する
対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方
開催日時：平成 27 年 7 月 27 日（日）午前 10 時～午後 3 時
開催場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター3 階 カンファレンスルーム 3A
対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方
発 表 者：富樫 公一（甲南大学）、吾妻 壮（大阪大学精神科）、岡野憲一郎（京都大学大学院）
司 会：岡野憲一郎
参加人数：30 名
担 当：岡野憲一郎

(3) 『タヴィストックセミナー』（第 6 回）

—発達障害の疑いがある子どもと家族の英国でのアセスメント&支援、日本でのフォローアップ—

開催日時：平成 27 年（2015 年）12 月 23 日（祝・水） 午後 1 時～5 時
開催場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター 3 階カンファレンスルーム 3A
対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方（臨床経験の多寡は問いません）
講 師：鵜飼奈津子・木部則雄
司 会：木部則雄・福本 修
討 論：小倉 清・木部則雄
参加人数：88 名
担 当：福本 修

(4) 海外講師によるセミナー

①Clinical Seminar

『Stephan Dreyer 先生をお招きして』

開催日時：2015年4月3日（金）午後7時～9時

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

対象：精神分析に関心があり、臨床を行っている方（経験の多寡は問いません）

講師：Stephen Dreyer 先生（英国精神分析協会のフェロー精神分析家、タビストッククリニックのコンサルタント臨床心理士）

司会通訳：庄司剛

症例提示：岩寺良太

参加人数：18名

担当：菊地孝則

共催：日本精神分析協会東京支部

②Master Class Clinical Seminar

『Naomi Shavit 先生をお迎えして』

開催日時：2015年4月5日（日）午前10時～12時半

開催場所：SCビル2階貸会議室

対象：守秘義務のある臨床家の方々

講師：Naomi Shavit 先生（英国精神分析協会・訓練分析家）

通訳：福本修

参加人数：14名

担当：福本修

共催：日本精神分析協会東京支部

③Dr. R. D. Hinshelwood 教授との臨床セミナー

開催日時：2015年10月11日（日）

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加対象：精神分析に関心があり、臨床を行っている方（経験の多寡は問いません）

講師：R. D. Hinshelwood 先生

症例発表：皆川英明

司会：福本修

参加人数：40名

担当：福本修

共催：日本精神分析協会東京支部

④Dr. R. D. Hinshelwood 教授とのビオン研究

開催日時：2015年10月12日（祝・月）

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

参加対象：精神分析に関心があり、臨床実践を行っている方（経験の多寡は問いません）

講師：R. D. Hinshelwood 先生

討 論：相田信男・奥寺崇・木部則雄・平井正三
司 会：福本修
通 訳：山田聡子
参加人数：80名
担 当：福本修
共 催：日本精神分析協会東京支部

II. 出版・広報事業

小寺セミナーなどにおける講義を本財団として出版する案について討議する。
ホームページの更新。
担 当：福本 修